

事 務 連 絡

平成19年 8月13日

各郡市区医師会長 殿



国立保健医療科学院
公衆衛生政策部長
(研修会主任)

「死体検案研修」(ご案内)

残暑の候、貴会におかれましてはますますご清祥のこと、心よりお慶び申し上げます。日頃は大変お世話になっております。

さて、昨年度、貴会のご協力を得て開催いたしました「死体検案研修」は全国各地から70名を超える皆様のご参加を得たところであり、その内容につきましてもお陰さまでたいへんご好評を頂きました。

今年度も、別紙ご案内の通り、国立保健医療科学院にて実施することとなりました。実施につきましては、今年度もこれまで同様、日本法医学会の全面的なご協力を頂いております。

つきましては、開催まで日が浅く申し訳ございませんが、貴職におかれましては会員各位にご参加の呼びかけをおねがいたしたく、ご案内を差し上げた次第です。ご関心のある多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

どうぞ今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。なお、本ご案内の発送につきましては、日本医師会のご了解をいただいておりますこと、また、都道府県医師会にもご案内を差し上げておりますことを申し添えます。

以上

(本研修会に関するお問い合わせは、国立保健医療科学院 教務課 北脇まで
お願いします。 048-458-6185、Fax048-458-6112)

小郡三井医師会より

担当理事 永田正和



平成19年度「死体検案研修」のご案内

国立保健医療科学院では、今年度、厚生労働省の方針に基づき、「死体検案」業務の充実を図るため、日本法医学会の協力の下、日頃、検案実務に従事する機会の多い医師を対象に死体検案研修を開催することといたしました。

研修会は対象者の日常診療の便宜を考え、3日間に及ぶカリキュラムを2回に分割し、日曜、祝日を利用して10月及び2月に実施することといたしております。また、この合間に東京都監察医務院等における監察医業務や大学医学部の法医学教室における法医学解剖を各自で見学実習していただき、後半の研修の材料としていただく予定です。

なお、見学実習を含むカリキュラム修了者には受講修了証書が授与されます。

記

1. 期 日 (前半) 平成19年10月7日(日) 9:30~17:30
10月8日(祝) 9:00~16:40
(後半) 平成20年2月10日(日) 9:00~16:00
2. 対象者 検案業務に従事する機会の多い医師
3. 定 員 100名
(定員の範囲内で受講の可否を決定し、その結果を通知いたします。)
4. 受講料 無料
5. 会 場 国立保健医療科学院(埼玉県和光市南2-3-6)
(<http://www.niph.go.jp>)
6. プログラム 別紙参照
7. 備 考
 - (1) 受講を希望される方は、前半・後半共に出席することが可能であることをご確認下さい。また、別途その間に監察医業務や法医学解剖を見学することもご了解下さい。(見学実習については、10月の研修の際に説明いたします。)
 - (2) 近くに食事の出来る施設が少ないため、希望者に昼食に弁当を用意いたします。
実費(各日1,000円程度)
 - (3) 本研修会の内容は、過去に実施いたしました内容と相違しておりますので、再度受講されても構いませんが、定員を超えた場合は、初回受講の方を優先いたしますのでご了承下さい。

・申し込み・お問い合わせ先

同封の参加申込書をFAXまたは郵送にてお送り下さい。(9月14日(金)必着)
(参加申込書は国立保健医療科学院ホームページ、研修案内、特定研修、「死体検案
研修」にも載っています。)

〒351-0197 埼玉県和光市南2-3-6 国立保健医療科学院 教務課 北脇

電話：048-458-6185 (タ・バリン) FAX：048-458-6112 (教務課)

E- mail kkitawaki@niph.go.jp

Fax No. 048-458-6112 へご返信又は郵送して下さい。

死体検案研修参加申込書
(前半：平成19年10月7日・8日
後半：平成20年2月10日)
於：国立保健医療科学院

お申し込み日 平成19年 月 日

参加者お名前			
	様		
所 属 役 職 名			
日中のご連絡先（都道府県名からご記入下さい。） 〒			
Tel:		Fax:	
Email:			
所属医師会名 (郡市区)		警察（協力）医の 指定の有無	有 無

お申込みは、下記連絡先までFAXにてお知らせ願います。
なお、申込受付は9/14日（金）までとさせていただきます。

連絡先：〒351-0197 埼玉県和光市南2-3-6

国立保健医療科学院総務部教務課 北脇

Tel :048-458-6185

Fax:048-458-6112

平成19年度 国立保健医療科学院 特定研修「死体検案研修」プログラム

会場：国立保健医療科学院（埼玉県和光市） 2階交流対応大会議室

前半：平成19年10月7（日）・8日（祝：体育の日）

後半：平成20年2月10日（日）

第1日（平成19年10月7日）

9：30～ 9：50	開講式	厚生労働省担当官 日本法医学会理事長中園一郎
9：50～10：50	検案と解剖の制度（監察医制度）	福永龍繁（東京都監察医務院）
11：00～12：00	死体現象と死亡時刻推定1	平岩幸一（福島県立医科大学）
13：00～14：00	死体現象と死亡時刻推定2	平岩幸一（福島県立医科大学）
14：10～15：10	死体検案の実際（VTR）と検案の注意点	大野曜吉（日本医科大学）
15：20～16：20	死亡診断書・死体検案書の作成上の留意点	大野曜吉（日本医科大学）
16：30～17：30	死因の考え方：原死因、死因の種類、ICD	吉田謙一（東京大学）

第2日（平成19年10月8日）

9：00～10：00	内因性急死1	山崎健太郎（山形大学）
10：10～11：10	内因性急死2	山崎健太郎（山形大学）
11：20～12：20	窒息死	中園一郎（長崎大学）
13：20～14：20	中毒死	木下博之（兵庫医科大学）
14：30～15：30	異常環境死	大澤資樹（東海大学）
15：40～16：40	損傷の見方（総論）	向井敏二（聖マリアンナ医科大学）

【この間に、各自で東京都監察医務院等における監察医業務や大学医学部の法医学教室における法医学解剖等の見学実習を実施する（申込み方法等については、別途説明します）。】

第3日（平成20年2月10日）

9：00～10：00	頭部外傷	木林和彦（佐賀大学）
10：10～11：10	交通外傷	山内春夫（新潟大学）
11：20～12：20	虐待とニグレクト（乳幼児、老人、DV）	佐藤喜宣（杏林大学）
13：20～14：20	在宅死（独居死亡、在宅医療、入浴中死亡）	徳留省悟（獨協医科大学）
14：30～15：30	事例報告または総合質疑応答	中園一郎他
15：30～16：00	修了式	厚生労働省担当官 日本法医学会理事長中園一郎

注：内容及び講師は変更する場合があります。

国立保健医療科学院案内図

住 所：〒351-0197 埼玉県和光市南2丁目3-6

電 話：048-458-6111（代表）

F A X：048-458-6112（教務課）

<http://www.niph.go.jp>

■交通

東武東上線・東京メトロ有楽町線

「和光市駅」下車（徒歩約25分）

（バス利用（約15分）の方）

和光市駅南口より

東武バス01系統を利用し、

「税務大学校」下車 徒歩 3分

東武バス06、08、09系統を利用し、

「税務大学正門」下車 徒歩 2分

西武バス39系統大泉学園駅行を利用し、

「税務大学校和光校舎」下車 徒歩3分

